

新年度からのアンテナショップ運営について

株式会社天満屋

地域連携推進

とっとり・おかやま新橋館担当

TENMAYA



1. 運営委託内容
2. リニューアルポイント
3. 天満屋運営のポイント

運営委託内容について

2024年4月より両県から運営委託を受託します。

対象エリアは1階のショップ部分で、商品選定・調達・販売管理といった一連の業務を天満屋が実施します。

対象エリア

アンテナショップ 1F 物販部門全体（鳥取・岡山）

運営内容

01

1階部分のゾーニング・商品計画



02

商品選定・展開



03

店内イベント・店外催事計画・実施



昨年実績のイベントについて

2022年度のイベント実績は以下の通りです。2024年4月以降については積極的にイベントを盛り込んで、ショップの活気づくりと両県の魅力発信を行う予定です。

現状

期間	イベント内容	期間	イベント内容
4月上旬	とりおか春のパン祭り	11月上旬	おしゃれ帽子フェア
4月下旬	和菓子とお茶フェア	12月	クリスマスフェア
5月上旬	母の日ギフト特集	12月下旬	日本酒試飲販売（千代むすび）
6月上旬	らっきょう祭り		日本酒試飲販売（松井酒造）
6月下旬	スイカ祭り		日本酒試飲販売（北条ワイン）
7月上旬	白桃フェア		大歳の市
7月下旬	クリアランスセール	1月	柏原クリアランスセール
8月中旬	梨フェア	2月	バレンタインデーフェア
9月中旬	津山ファクトリーブランドフェア	2月下旬	工芸・雑貨フェア
10月上旬	秋のパン祭り	3月	ホワイトデーフェア
10月下旬	来館者350万人突破セレモニー		

リニューアル後

- 01 自治体PRゾーンの創出
- 02 年間52週を意識したイベント計画
- 03 自治体と連携した取り組み

アンテナショップへの商品選定・展開への流れ

アンテナショップには、各県から一定の基準を満たした、県産品としての認証を受けたものだけを展開します。
店頭展開への大まかな流れは以下の通りです。

事業者

STEP.01

アンテナショップへの展開希望する商品を選定

まずは東京へ販路を拡大したい商品を選定ください。

STEP.02

県産品登録システムへの登録申請

岡山県と鳥取県で申請フローが異なります。
詳細は各県の窓口へお問い合わせください。

STEP.03

県産品システムへ登録完了

一定の基準を満たした商品が県産品システムへ登録をすることができます。販売者や製造元が各県に所在しているか、主な原料として各県の素材をしようしているかがポイントになります。

STEP.04

登録完了後、アンテナショップ側に情報送信

システム登録完了後、ショップ側に情報が届き、商品の詳細内容を確認することができます。システム経由で情報が自動的に届きます。

天満屋

STEP.01

登録完了商品の情報確認

県産品として登録された商品の詳細情報を確認します。

STEP.02

アンテナショップでの取扱いの判断

店頭で展開するかどうかの判断をします。

STEP.03

事業者へ詳細確認の連絡

展開に向けショップ側から連絡が入ります。
もしくは事業者からアプローチをしていただくことも可能です。

STEP.04

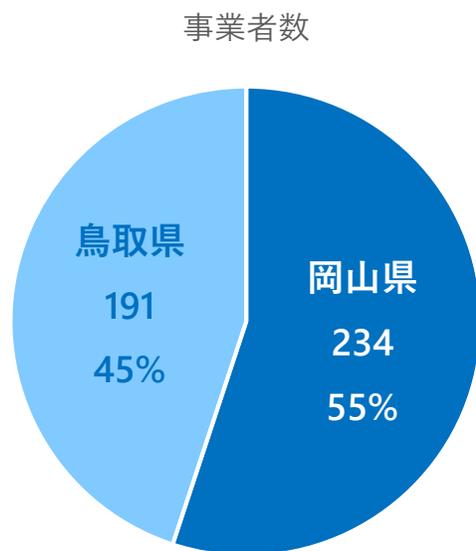
初回発注後、取り扱い開始

以降は通常の商品と同様のスキームで商品が展開されます。
決してアンテナショップでの取扱い開始がゴールではなく、首都圏での販路拡大を見据え、事業者と一緒に仕掛けを発信します。

アンテナショップの現状の取引先について

岡山県と鳥取県合わせて約430社の事業者が展開しています。（2023年8月時点）

売上の割合半分強を岡山県が占めているので、とっとりの事業者の割合を増やして売上シェアを引き上げていきたいと思います。



岡山県

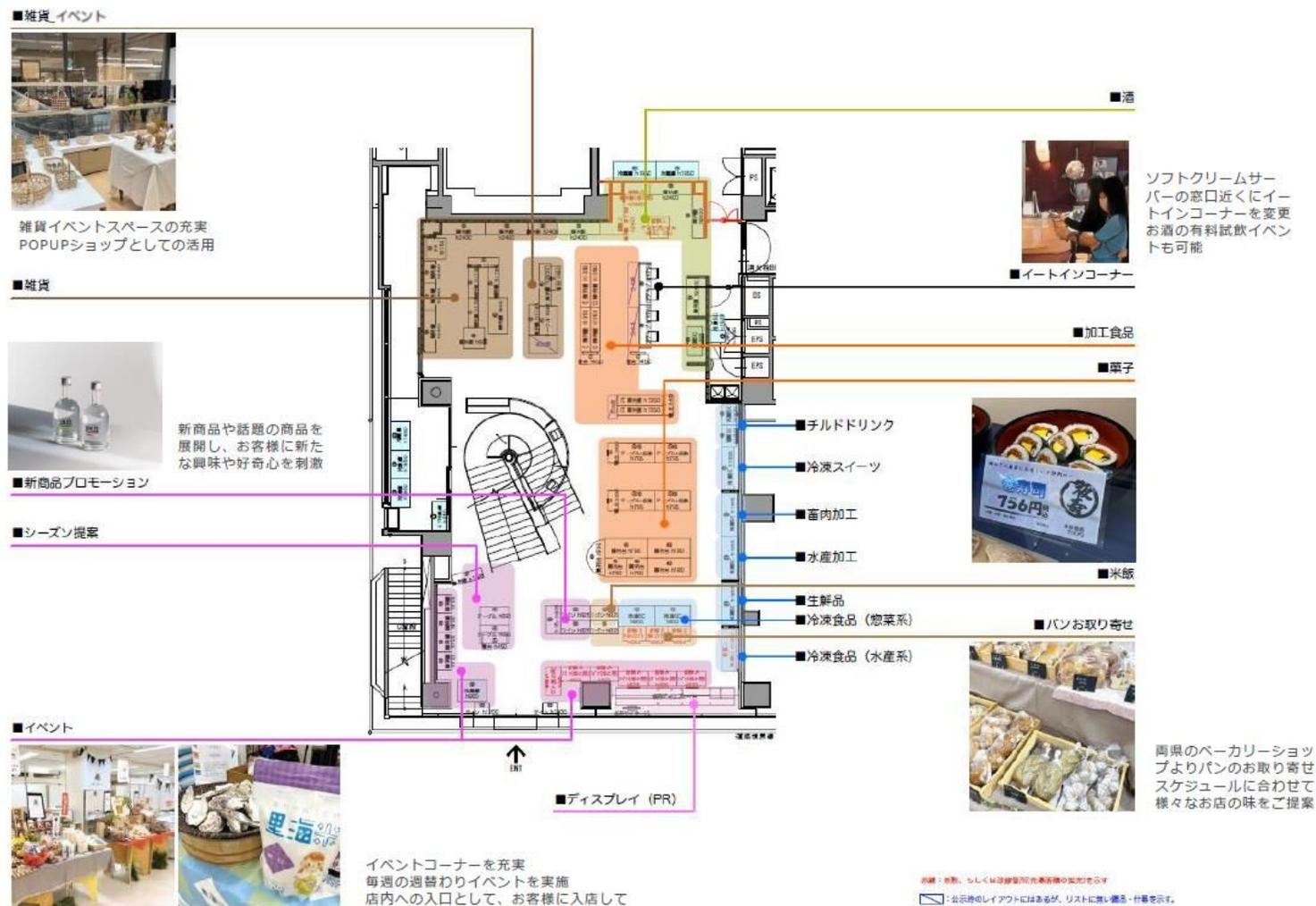
自治体	事業者数	自治体	事業者数	自治体	事業者数	自治体	事業者数	自治体	事業者数
岡山市	60	瀬戸内市	8	赤磐市	7	玉野市	4	矢掛町	2
倉敷市	49	総社市	8	笠岡市	6	苫田郡	3	和気郡	2
真庭市	11	備前市	8	高梁市	6	久米郡	2	勝央町	1
浅口市	9	美作市	8	井原市	4	新庄村	2	早島町	1
津山市	9	新見市	7	吉備中央町	4	浅口郡	2	その他	11

鳥取県

自治体	事業者数	自治体	事業者数	自治体	事業者数
鳥取市	47	境港市	15	松江市	1
米子市	27	八頭郡	8	福部町	1
東伯郡	26	岩美郡	6	その他	19
倉吉市	21	日野郡	3		
西伯郡	16	広島市	1		

フロアゾーニング計画について

首都圏の消費者に、両県の特徴ある食材と食品その他特産品の魅力を発揮できるように、一堂に展示紹介することにより、顧客満足度向上と産地側のアピール向上につながる売り場づくりを実施します。



天満屋運営で実現すること

天満屋運営で実現するポイントは3つあります。地方百貨店のノウハウ・地域とのつながりを存分に活かしながら、鳥取・岡山の魅力を商品・イベントを通して発信できる売り場づくりと商品選定を実施します。

2つのイベントゾーンを中心に、お客様にとっていつ来店しても新しい出会いを提供

01

(入口左) : 季節の商材や自治体PRエリアとして展開し、商品+情報を発信
 【新】(店内奥) : 提案型のイベントゾーンを新設し、語って魅力を伝える商品中心に展開

02

地元のお客様から人気がありながらも アンテナショップへ未展開の商品を新規展開

入口右をVPエリアとして商品展開・訴求

03

百貨店ならではのホスピタリティある接客を通して、 おもてなしあふれる快適なお買い物体験を提供

百貨店で培ったホスピタリティでおもてなしあふれるサービスを提供

百貨店基準の店内設計で買い回りしやすい導線確保、岡山デニムのエプロンを制服に取り入れ、上品な見た目を表現



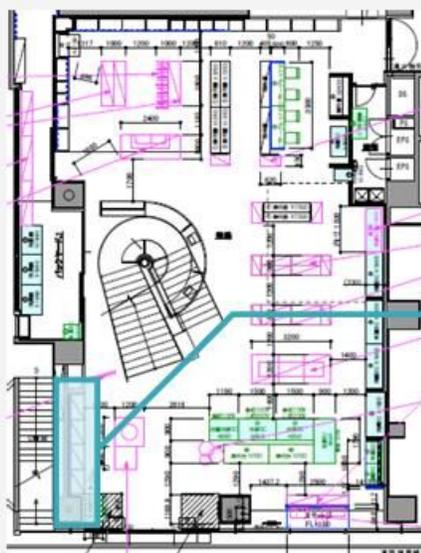
烏城彫り体験



山陰民謡展「ろくろ実演」

自治体PRイベントコーナーについて

入り口左のイベントスペースで新たな取り組みとして、鳥取県・岡山県の自治体エリアをPRするイベントを展開します。
自治体の商品展開だけではなく情報発信まで実施するので、販促ツールの協力や現地でのイベントで活用を検討下さい。



イベント内容

鳥取・岡山の自治体を切り口とした商品集積や情報PRするイベントを実施

(例)

- 鳥取西部特集（スイカの季節に合わせて、スイカやちなんだ商品を集める）
- ○○市特集
- 高梁川流域特集（食品・非食品、観光地案内など）

実施時期

年間催事計画の中で組込む。
他にも季節にちなんだイベントや出展販売なども同じ場所で展開します。

展開物

自治体切り口にちなんだ商品の展開や自治体PRする販促物やポスター等

依頼内容

各自治体との連動（現地への参画）
販促ツール・ポスターの送り込み